

キャリア教育カリキュラムに基づく出前授業実施計画（単元計画）

福山市立新市中央中学校

研究テーマ **地域や地元事業所と連携した「自己を表現することができる子どもを育成する」カリキュラム開発**

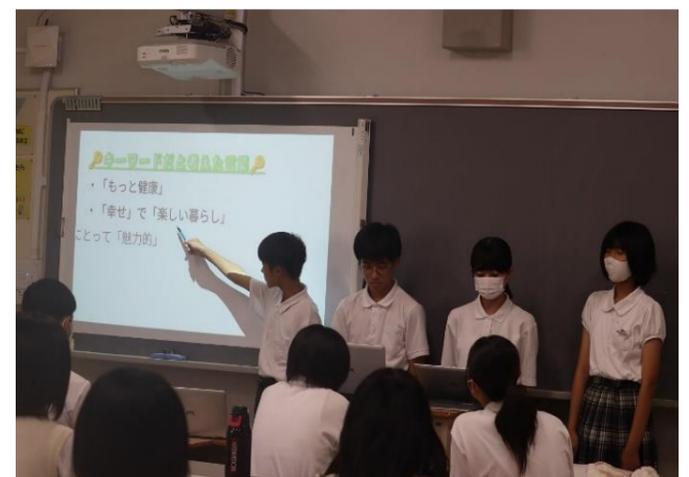
3 観点	思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度	知識・技能/主体的に学習に取り組む態度	知識・技能/思考・判断・表現
資質能力	チャレンジ&チェンジする力	自己理解力	自己表現力
中2・3	・目標達成に向けて、より良い方法を考えて取り組むことができる。 ・達成状況を振り返り、改善策を考えることができる。	日々の学習活動を通して、自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができる。	自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。
中1	活動を振り返り、改善策を考える。	自分の将来の夢や目標を持つ。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。

学年	教科	単元名（全40時間程度）	教科の目標	キャリア教育で育てる資質・能力	関連企業等		
2	総合	探究学習プログラム	知	<ul style="list-style-type: none"> 企業との関わりを通じ、各種企業の企業努力や様々な職業観について理解を深めている。 各活動を通じて、自分の将来の生き方や働き方についての考えを持つことができる。 調べ学習をはじめとした情報収集活動の中で、適切な情報を取捨選択することができる。 	★自己理解	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に向けて、より良い方法を考えて取り組むことができる。 達成状況を振り返り、改善策を考えることができる。 	タカノフ食品 土木工 HITOTOITO ギフトガーデン進吾 寺岡記念病院 明治安田生命 カイハラ 中国銀行
			思	<ul style="list-style-type: none"> 仲間や、企業の人たちと協力しながら様々な探究活動に取り組むことができる。 習得した情報やアドバイスを関連付け、多面的・多角的に考えることができる。 様々な表現方法を用いて、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。 	★自己表現	日々の学習活動を通して、自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができる。	
			主	<ul style="list-style-type: none"> 各企業や社会がよりよくなる方法について、仲間や企業の人たちと協力しながら、考えようとしている。 各活動を行う際に、目標を立て、達成状況を振り返りながら、活動を修正したり、よりよい改善方法を見つけようしたりなど、粘り強く取り組んでいる。 学習活動全般を通じ、自身の将来設計や日々の学習とのつながりを考えながら取り組もうとしている。 	★チ	自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。	
次	時	学習活動 ★出前授業/キャリア	指導上の留意点	教科の評価規準 ★キャリア教育の資質・能力との関わり	評価方法		
1	10	★オリエンテーションを受ける。	今後の活動を活発化させるために、本プログラムのグランドルールを確認し、職業と自分の生活との関わりについて考えさせる。	○★オリエンテーションを通じ、学習活動と自分の生活との関わりを考えようとしていたか。（主/チ）	・ワークブック ・行動観察		
		★自分の職業観に触れる。	自分が潜在的に興味を持っている仕事について知るために、ベネッセの職業適性検査を活用する。その結果を踏まえ、自分が考えたことや、相手の考えたことを共有する時間を作り、考えをより深めることができるようにする。	○職業適性検査を通じ、自分の職業観について理解を深め、自分の将来の夢や目標について考えを持てたか。（知/自理）	・ワークブック		
		・ミッションを出してもらった企業について知る。	企業の詳細を調べる際に、企業の準備している資料だけでなく、HPなども活用させ、より深く企業について知るできるようにする。	○企業について調べる中で、適切な情報を取捨選択することができたか。（知）	・行動観察		
		★企業にエントリーするシートを作成する。	エントリーシートを作成する際は、職業適性検査の結果も踏まえて、考えをまとめるようにさせる。 ・エントリーシートだけでなく、自己PR動画を作らせ適宜、自己表現力の向上へつなげる。	○★エントリーシートや自己PR動画の作成を通じ、自分の思いや考えを、分かりやすく伝えることができたか。（思/自表）	・エントリーシート ・自己PR動画		
		・チーム作りをする。	チーム作りを行う際は、そのチームならではのルール作りや、チーム名作りを行わせることで、チームへの帰属意識と、連帯感を持たせる。	○仲間と協力しながら、チーム作りに取り組もうとしていたか。（主）	・行動観察		
		★企業による新人研修に取り組む。	活動に「当事者意識」を持たせるため、調査活動に取り組む計画を立てる際、実際に、自分たちの目で探し、目で見て情報を集められる場所や機会がどこにあるのかを考えさせる。また、実物や写真を持って来るときには、必ず許可を取るようさせる。	○★調査活動の計画をたてるなど、研修目標の達成へ向けてよりよい方法を考えることができたか。（主/チ）	・ワークブック		
		★新人研修の結果を報告する。	発表や企業の方のコメントをただ聞くのではなく、良い所や疑問点などをメモさせる。 ・オンライン環境を整えておく。 ・声の大きさやスライドの見やすさなど、表現力の部分にもリフレクションを行う。	○★情報収集した内容を基に、企業について調査した内容を、わかりやすく伝えることができたか。（思/自表）	・行動観察 ・プレゼン資料 ・評価シート		
2	11	★アンケート調査の計画を立てる。	アンケート調査では、サンプル数が多く必要なため、グループで分担をよく考えさせる。また、街頭調査をする場合は、どこでどのように調査するか、計画をと立てさせる。	○★アンケート調査へむけて、よりよい方法を考えることができたか。（主/チ）	・行動観察 ・ワークブック		
		・アンケート調査を行う。	街頭調査を行うにあたって、どのように、アンケートを行うのかを、事前に練習させてから向かわせる。 ・商業施設などでアンケートを実施する場合は、開始と終了の際に、カスタマーセンターなどで、事前に、街頭調査を行う旨を伝えて、実施させる。	○仲間と協力しながら、調査活動に取り組むことができたか。（主）	・行動観察		
		・アンケート結果の考察を行う。	サンプル数が十分に確保できていない場合は、「インターン先企業が所属する業界の現状や、ライバル企業にどのようなものがあり、自社との違いや強みはどうか」「インターン先企業の事業の現状はどうか、強み・弱みは何か？」を調べさせる。 ・数値だけでなく、結果から、「どんな傾向がみられるか？」や「どの情報とどの情報が関連性があるか？」など、考察の視点を明確にする。	○アンケート調査の結果や、これまでに習得した情報を関連付け、よりよい考えを構築していたか。（思）	・プレゼン資料 ・アンケート調査結果		
		★調査結果を報告する。	発表や企業の方のコメントをただ聞くのではなく、良い所や疑問点などをメモさせる。 ・オンライン環境を整えておく。 ・声の大きさやスライドの見やすさなど、表現力の部分にもリフレクションを行う。	○★調査結果の報告を通じて、達成状況を振り返り、次の活動へ向けた改善策を考えることができたか。（主/チ） ○★プレゼンテーションを作成し、相手の立場に立って、分かりやすく発表することができたか。（思/自表）	・ワークブック ・行動観察 ・プレゼン資料 ・評価シート		
		★実際の職場で働いている人たちの話を聞く。	インターン先で実際に働く方々の姿に向き合うことで、自分の将来の夢や目標、生き方への理解を深めさせる。 ・いろいろな人の仕事に関する動画を見る際に、感想やメモをしっかりと書かせ、今後のミッションに対する企画に生かせるようにする。	○★いろいろな人の職業観に触れることで、自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができたか。（知/自理）	・ワークブック		
		★企業からミッションを受け取る。	ミッション動画の中で、今後のヒントになりそうな言葉はメモさせる。 ・ミッションの文末に着目するのではなく、ミッションに使われている重要なキーワードが何かを考えるように言葉がけをする。	○★ミッションを受けて、どのようにそのミッションを企画していくか、目標を立てようとしていたか。（主/チ）	・ワークブック ・行動観察		
3	10	6	★企業からのミッションについて企画を練る。	・ミッションに対する企画を考えさせる際、ミッションの一つ一つの言葉の意味についてもよく考えさせ、多角的・多面的に、ミッションの内容の中核を捉えさせる。 ・ミッションの企画を練る際は、企業調べやアンケート調査した内容を踏まえたものにするよう声かけをする。	○ミッションの企画を通じて、自分の考えや思いを、他者に分かりやすく伝えていたか。（思/自表）	・ワークブック ・プレストの模造紙 ・企画書 ・行動観察	

			<ul style="list-style-type: none"> 企画を練る際には、ブレインストーミングを行い、様々な意見を出させ、発散⇒収束という過程を繰り返させ、より深い考えになるようにする。 全体交流会の場を設け、他のチームや企業のものも見に行かせて、アドバイスし合う時間を設け、1つの視点に考えが狭まらないようにさせる。 可能な場合、企業にも案内をかけ、ミッションの具体的な企画についてアドバイスをもらえるようにする。 			
		3	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション作成上のポイントを提示し、これまでの発表なども振り返らせながら、プレゼン作成に取り組ませる。 出来上がったものは、何度も練習を行わせるだけでなく、制限時間の中におさまり、内容的に確に伝わるように、言葉選びや、文字や資料で何を出すかを、チームでより深く考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現活動に必要な様々なプレゼンテーションスキルを身につけることができたか。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼン資料 行動観察
		1	★中間報告を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 発表以外の人は、発表者の評価に加えて質問を考えさせ、自分の発表や、企画内容がよりよくなるヒントをつかめるようにする。 企業の方から、中間発表や今後の企画の展望についてアドバイスをもらえるようにする。その際、必要に応じては、企画を1から見直すよう、声をかけてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ミッションについての企画を、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができたか。(思/自表) 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼン資料 コメントシート 行動観察
4	9	2	★中間報告の反省と企画を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告や文化発表表、コメントシートなど、いろんな角度から自分たちの発表や企画を見直させる。 見直しを通じて、企画が行き詰っていたり、新しい考えが出たりしたチームについては、位置から企画を練り直していいことを伝える。また、企画の練り直しをさせる際は、プレートの模造紙や、アンケート調査、企業について調べた内容も振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★中間報告を踏まえ、自分たちの企画の達成状況を見直し、よりよい企画を考え、次へ向けての計画を立てようとしている。(主/チ) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークブック 企画シート
		3	・最終報告へ向けてプレゼンを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 出来上がったものは、何度も練習を行わせるだけでなく、制限時間の中におさまり、内容的に確に伝わるように、言葉選びや、文字や資料で何を出すかを、チームでより深く考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○最終報告の作成の中で、仲間や企業の人と協力しながら、探究活動に取り組むことができています。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 プレゼン資料
		2	★最終報告会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 部門に分けて表彰することを伝え、主体的に生徒が発表に取り組めるようにする。 企業の方には、最終報告の評価だけでなく、活動全体の評価も伝えてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○★本単元のすべての活動を関連付け、相手や場に応じて分かりやすく説明することができています。(思/自表) 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 プレゼン資料 評価シート
		1	★お礼状を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> お礼状の形式について、国語科と連携して指導が行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○★お礼状の中で、自分の思いや考えをまとめることができたか(思/自表) 	<ul style="list-style-type: none"> お礼状
		1	★探究活動全てのまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 活動全体を振り返り、自分たちの良かったところと課題となったところを振り返らせ、次の単元に活かせるようにする。 異学年・異校種へ、最終報告をすることを伝え、最終報告の内容をしっかり見直すことの必然性を持たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○★プログラム全般を振り返り、自分の将来の夢や目標と日々の学習とのつながりを考え、自分の今後の生き方を考えようとしている。(主/自理) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークブック

資質・能力をみとるルーブリックB評価案

チャレンジ&チェンジする力	各活動で、きちんと目標や計画をたて取り組むことができる。また、達成状況を振り返りながら、活動を修正していくことができる。
自己表現力	活動の中で、自分の考えを積極的に発信したり、ICTの活用など表現方法を工夫しながら、相手や場面に応じて分かりやすく説明できる。
自己理解力	各活動の中で、自分の将来の夢や目標との関連性を考えたり、よりよい地域・自分にしていくために、何ができるかを考えたりできる。



本単元での成果・子供の姿（子供の意見など）

- 発表を見てもらう企業・団体の方にルーブリックを共有し、生徒にも「達成してほしい項目」として提示した。それにより、生徒もしっかり自分たちが目指す姿をイメージし、また企業・団体の方から資質・能力を意識したアドバイスをいただき、企画内容や発表の仕方など改善することができ、半数以上の企業・団体の方から「ミッションに積極的にチャレンジしていたと思う。」「生徒の自己表現力は高まっていったと思う。」の面で肯定的な評価をしていた。
- 自分たちでインターネットを使い調べ取捨選択し、自分たちで集めたアンケートと関連させミッション達成に向けて、よりよい方法を考えることができていた。

【生徒のコメント】

- 最初は、発表原稿に目線が集中していたけど相手に伝えるということ意識し、何度も練習を重ねることで、伝える相手の方を見て自信を持って発表することができるようになった。
- 街頭でのアンケート調査では、見知らぬ人に声をかけることが、最初は中々勇気が出なかったけど、挑戦してみようと友達と頑張り、慣れてきて自分から沢山のの人にアンケートをお願いすることができとても良い経験になった。
- 相手に伝えるために、企画内容を理解してもらうために、発表の声だけでなくスライドも誰が見てもわかりやすいようにすることを意識することができた。
- ミッションをしっかり理解し、何度も試行錯誤する中で、一つの商品を作り上げるのに、こんなにも大変だということを実感することができ、今回の探究学習で、職業や地域の企業について調べて深く知ることができた。
- アンケート調査の結果を自分たちで集計し、数値から課題を見つけ、予測する力がついた。

【夏季の企画訪問に行った生徒の感想】

- 実際の仕事している姿や商品が出来上がる工程を見ることができて企画案を考えるととてもやりやすかった。
- 普段できない体験をさせてもらい、より職業に興味を持つことができた。

本単元での課題・改善案

- 企画案を考える中で、インターネットで調べても分からないことや気になることが出てきたときに、企業・団体の方と交流できるのが今年度は発表の時だけになってしまったため、生徒と企業の方との交流できる時間を確保したい。